

新たな市民会議としてスタート

本会議は、前身が青少年育成鉾田町民会議として今から30年前に発足し、その後、平成17年に鉾田町、旭村、大洋村が合併して鉾田市になり、名称を「青少年育成鉾田市民会議」として新たにスタートした。

鉾田市からの財政援助と市民からの会費及び賛助会費を主な財源として、独自に事務局を置いて市民が自主的に運営をしている。

現在、18の地区協議会があり、部会は、青少年、地域環境対策、家庭教育、広報、総務の5部会が事業を分担して進めている。

第3回青少年の主張大会 (担当：青少年部会)

市内20小学校及び4中学校の代表1名が将来の夢や希望、現在の社会風潮をみて考えることなどを発表する。



平成22年度 青少年の主張大会

親子で楽しむクリスマスコンサート (担当：家庭教育部会)

12月下旬に演奏や合唱、音楽、ゲームなど出演者と観客が一体となって楽しいひとときを過ごす。併せて善行青少年の表彰式を行っている。



親子で楽しむクリスマスコンサート
(平成22年度)

地域浄化運動 (担当：地域環境対策部会)

年2回関係団体の方々が協力して違法広告物の撤去作業をしたり、高校生と協働でグリーンロード(通学路)の清掃作業を行っている。

広報紙「きずな」の発行 (担当：広報部会)

広報紙「きずな」を年2回発行、全戸及び関係機関に配布している。

特に、本年度は、青少年育成鉾田市民会議についてさらに理解を深めていただくために、「Q & A」のコーナーを設けて本会議の役割や事業、予算などをグラフで詳しく説明した。

青少年のための古河市民会議

君たちの夢は こがのまちが育む

青少年のための古河市民会議は、古河市、総和町、三和町が合併して古河市になり、これまでの市町民会議を見直し、平成21年6月に新たな組織として設立した。

市内の青少年関係機関団体が連携を図りながら、活動を展開している。

第1回古河こどもまつり

平成22年5月に、子どもたちが世代を超えて人々とふれあい、子どもたちに夢とロマンを与える場として、誰もが参加でき、ともに楽しめるイベント、「第1回古河こどもまつり」をゴールデンウィークの1日、古河総合公園芝生広場において開催した。

当日は、五月晴れの晴天に恵まれ、市内の青少年育成団体20団体が、大声コンテスト、どじょうつかみ、スポーツチャンバラ体験、ちびっこ救助隊などの催しや綿菓子、ポップコーン、焼きそばなどの模擬店のブースを運営し、各々の団体の活動を広くPRする機会となった。



模擬店で楽しむ子どもたち

メインステージでは、子どもたちによるヒップホップダンス、エアロビクスダンス、フラダンス、和太鼓演奏、お囃子の発表など、日頃の練習の成果を発表し、まつりを盛り上げてくれた。

近年、外で遊ぶ機会が少なくなったと言われる子どもたちは日頃の活動成果を発表



子どもたちは日頃の活動成果を発表

もたちが、青空のもと、広い芝生の上で存分に楽しむことができた。

また、参加した子どもたちは、このまつりを通して地域の方々と交流を持つことができ、多くのことを学び、感じとる貴重な機会になったことと思う。

今年度は、残念ながら、東日本大震災の影響により、会場が閉鎖になったため、開催することができなかった。

来年度以降もこのまつりを継続し、参加者一人ひとりの「心」が一つになって、子どもたちの思い出に残る「こどもまつり」として、そして次代を担う子どもたちの健全育成と市民意識の高揚を図っていきたい。